



札幌まちづくりシンポジウム

札幌・アジアの宝のまち

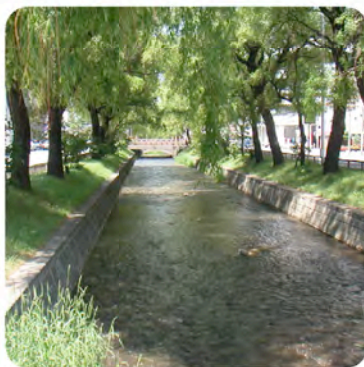
日時/2007年11月30日(金) 13:30~17:15

会場/札幌エルプラザ3階ホール(札幌市北区北8条西3丁目)

定員/300名(入場無料、申込受付11/29まで先着順)

共催/札幌市・GSデザイン会議

後援/土木学会北海道支部、土木学会 景観・デザイン委員会、
全日本建設技術協会



会場/札幌エルプラザ3階ホール(札幌市北区北8条西3丁目)

定員/300名(入場無料、申込受付11/29まで先着順)

共催/札幌市・GSデザイン会議

後援/土木学会北海道支部、土木学会 景観・デザイン委員会、
全日本建設技術協会

日本最北の政令指定都市であり、北海道の政治経済の中心となっている札幌市では、恵まれた自然環境などの風土特性と大都市としての魅力を十分に活かしながら、世界に誇れる環境と文化のまちとなるよう都市づくりを進めています。

こうした中、札幌都心部では、市民にとって様々な活動にかかわる優れた魅力を備え、来訪者にとっては札幌を端的に理解する顔となることが期待されており、「札幌駅前通地下歩行空間整備」や「創成川通再整備」などの「都市再生プロジェクト」を一貫したコンセプトのもと行政と専門家がタッグを組んで進めています。

このようなプロジェクトが進む中、民間再開発も活発化し、都市再生が本格化しているなかで、将来の札幌の都心像とその魅力を内外に発信するシンポジウムを開催します。

札幌市建設局土木部 <http://www.city.sapporo.jp/kensetsu/stn/>

GSデザイン会議 <http://www.groundscape.jp/>

登壇者ご紹介

篠原 修 Shinohara Osamu

政策研究大学院大学教授(土木設計/GS代表)

1945年生まれ。1971年東京大学工学系大学院修士課程修了。同年アーバンインダストリー入社、1975年東京大学農学部林学科助手、1980年建設省土木研究所、1986年東京大学農学部林学科助教授、1989年東京大学工学部土木工学科助教授、同大学教授を経て、2006年より現職。工学博士。主な著作に『土木造形家100年の仕事』(新潮社)、『土木デザイン論』(東京大学出版会)、『都市の水辺をデザインする-グラウンドスケープ群像奮闘記』(編共著、彰国社)など。主な設計指導・監修に、勝山橋(福井県)、隴大橋(福岡県)、謙信公大橋(新潟県)、桑名住吉入江(三重県)、津和野川(島根県)、苫田ダム(岡山県)、河戸堰(高知県)、旭川都市拠点地区(北海道)、長崎水辺の森公園・橋梁群(長崎県)など多数。

藤村 直樹 Fujimura Naoki

宮崎県日向土木事務所 所長(都市計画/GS)

1949年生まれ。熊本大学工学部土木工学科卒、その後宮崎県入庁。今まで関わったプロジェクトに、日向地区連続立体交差事業、富高財光寺通線街路事業、油津地区堀川運河歴史的港湾環境創造事業など。

小林 英嗣 Kobayashi Hidetsugu

北海道大学大学院教授(都市計画/GS)

1946年生まれ。1971年北海道大学大学院工学研究科修士課程修了。1971年同大学助手。1986年同大学助教授を経て、1997年より現職。2005年北海道大学役員補佐。著書に「公共事業は誰のものか」(2002中央公論新社)、「建築と都市」(2003彰国社)、「キャンパスマネジメントハンドブック(編著)」(2005日本建築学会)ほか。関わった計画、作品に「北海道立帯広美術館、ふれあいの森・積丹、茂漁川再生設計、北海道大学ファカルティハウス(エンレイソウ)、北海道大学遠友学舎、札幌市都市計画マスタープラン、札幌コンベンションセンター(監修)、札幌駅前広場、北海道大学キャンパスマスタープランなど多数。

加藤 源 Kato Gen

(株)日本都市総合研究所 代表(都市計画/GS)

1940年生まれ。1964年東京大学工学部建築学科卒、1967年ハーバード大学大学院デザイン学科建築・都市デザイン課程卒(フルブライト・スカラーシップ)。1973年(株)日本都市総合研究所を設立、現在に至る。この間、東京大学都市工学科講師、国土交通省国土交通大学校講師など。花巻駅周辺地区の都市設計で日本都市計画学会計画設計賞受賞。主な著書に「公共空間を魅力的にする」(監訳、学芸出版社、2005)、「都市再生の都市デザイン」(学芸出版社、2001)、「都市とデザイン」(共著、電通、1992)などがある。工学博士、筑波大学講師。

プログラム

(全体進行) 山重啓司(札幌市建設局創成・駅前整備担当部長)

13:30-13:40 <開会挨拶> 札幌市

13:40-14:20 <基調講演> 「まちづくり20年の経験でわかったこと」
篠原修(政策研究大学院大学/土木設計/GS代表)

14:20-14:50 <事例紹介> 「歴史的運河の整備～宮崎県日南市油津堀川運河」
藤村直樹(宮崎県日向土木事務所/GS)

14:50-15:00 <休憩>

15:00-17:00 <パネルディスカッション:札幌の都心にさらなる魅力を>
司会:酒本宏((株)グランドデザイン)

パネリスト:小林英嗣(北海道大学大学院/都市計画/GS)

加藤源((株)日本都市総合研究所/都市計画/GS)

ヒロ中田((株)リクルート北海道じゃらん執行役員編集長)

成田真利子(市民グループ「オフィスタウンクリエイト」)

二階堂恭仁(中央バス観光商事(株)観光事業本部副本部長)

山田政光(札幌市建設局長)

オブザーバー:篠原修(前出)

17:00-17:15 <閉会挨拶> GSデザイン会議

ヒロ中田 Hiro Nakata

株式会社リクルート北海道じゃらん執行役員編集長

1960年生まれ。1984年慶応義塾大学法学部卒、(株)リクルート入社。1994年「エイブロード」関西版 副編集長、1996年「北海道じゃらん」副編集長を経て、1999年同誌編集長。2005年より現職。北海道の「食」と「観光」をテーマに、テレビ番組「旅コミ北海道」の企画や食の地域ブランド化プロデュースなど多方面で活動。

成田真利子 Narita Mariko

市民グループ「オフィスタウンクリエイト」代表

NARITA国際法務行政書士事務所所長。公職としては、北海道本人確認情報保護審議会委員、札幌市あんしん歩行エリア連絡協議会委員、札幌市公共事業評価検討委員会委員。

二階堂恭仁 Nikaido Takahito

中央バス観光商事株式会社観光事業本部副本部長

1983年北海道中央バス株式会社入社。営業所、ターミナル勤務を経て、主にバス路線の事業計画に従事。現在、中央バス観光商事に出向し、スキー場を中心とした観光事業に従事。

山田 政光 Yamada Masamitsu

札幌市建設局長

1950年生まれ。1968年札幌市役所採用。1971年から約10年間、「厚別副都心構想」の地域開発に携わる。その後、文化・観光・交通事業に携わった後、2003年建設局管理部長、2006年東区長を経て、2007年4月から現職。札幌芸術の森、京阪電気鉄道、北海道フットボールクラブへの派遣歴を活かして、ハード、ソフト両面の総合的なまちづくりを目指す。

酒本 宏 Sakemoto Hiroshi

株式会社グランドデザイン

1962年生まれ。1985年北見工業大学卒業。1995年札幌市内の建設コンサルタントを退職してグランドデザインを設立。全道各地の住民参加型まちづくりのコーディネーターや景観計画、観光振興、公共事業における合意形成のコーディネーターなどに携わっている。札幌市においては、あんしん安全歩行エリアの計画策定や創成川通の広場計画に係るコーディネーターに携わっている。



さっぽろ市

05-M00-07-722

19-5-173